

<p>1. 動機(経緯)</p>	<p>当行は、平成 20 年 7 月、(株)福岡キャピタルパートナーズと日本プライベートエクイティ(株)が共同運営する事業承継ファンド「九州・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合」の設立に際して、九州の他の地域金融機関と共に出資。</p> <p>この「九州・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合」は、安定した業績を上げながらも後継者問題で今後の会社運営に不安を抱えている九州地域の中堅・小企業を対象に投資し、その「技術」、「ノウハウ」、「人材」を次世代に継承し事業継続を実現することで、地域貢献を図ることを目的としている。</p> <p>本件事例は、「九州・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合」の最初の投資取組み案件。</p>
<p>2. 概要</p>	<p>対象会社は福岡県久留米市の教育家具メーカー。</p> <p>オーナー社長は 4 年前に他界する前から、後継者問題で会社の廃業を希望。親族内にも会社内にも事業を引き継ぐ者がなく、株式の 100%を相続した夫人も経営に関与しなかった。</p> <p>当社は福岡県内や九州地域で確立した販売シェアと販売ルートをもっており、業績は安定。他方、廃業することは雇用の確保や取引先等地元経済への影響を考えると避けたいところであった。</p> <p>平成 20 年 9 月、当行のアドバイスを基に、株主は本件事業承継ファンドへ全株式を譲渡。</p>
<p>3. 成果(効果)</p>	<p>投資後から直ちに、代表取締役及びその他経営幹部の派遣を行い、管理会計導入・業務フローの可視化等、業務の効率化と生産管理体制の改善に着手。新規設備の投資により業務効率も向上し従業員のモラルも向上。</p> <p>当行のこれまでの事業承継支援業務に新たな手法を加える結果となり、その後の提案活動内容もレベルアップした。</p>
<p>4. 今後の予定(課題)</p>	<p>全国で毎年約 7 万社の中小企業が後継者不在を理由に廃業していると言われる中、事業承継は喫緊の経営問題となっており、当行でご相談を承るケースも年間 100 件を超えている。</p> <p>当行では事業承継問題を抱える中小企業オーナーの経営支援・ファイナンス・相続対応等、事業承継対策支援を重要課題として取り組んでいる。本件ファンドへの出資を通じ、当行はファンド運営会社と共に経営者の派遣を含む真の意味でのハンズオン投資を実現し、投資先の企業価値向上に大きく寄与できるものと考えている。</p> <p>本件により、これまでの事業承継対策支援業務も強化でき、より一層地域の中堅・中小企業に貢献していく所存。</p>

・ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (事業承継)

「九州・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合」による事業承継の事例

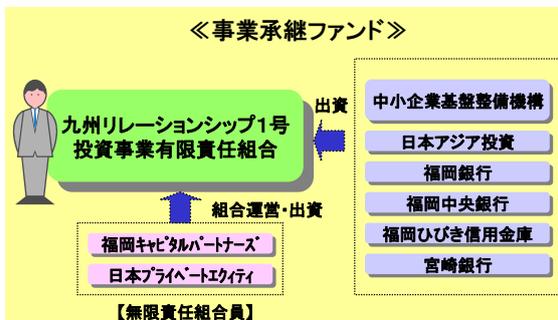
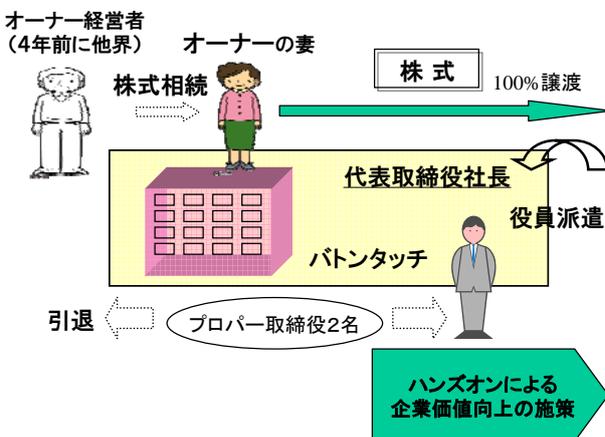
■ 会社概要(製造業)

- オーナー社長は4年前に他界。亡くなる前には会社の廃業を希望。
- 親族内に事業を引き継ぐ者なく、相続人も経営には関与せず。
- 事業を支えてきたプロパー取締役は早期の引退を希望していた。

■ 事業承継に至るポイント

- 福岡県内や九州地域で、確立した販売シェアと販売ルート
- 雇用や取引先への影響を考えると廃業は好ましくない。
- 事業の社会貢献度(地元経済に密着した企業活動)

■ 事業承継プロセスと企業価値向上施策



- 代表取締役の派遣。非常勤取締役、監査役の派遣。
- 業務の効率化。管理会計導入。業務フローの「可視化」。原価管理体制の構築。生産管理体制の改善。
- 適正な設備投資による業務効率の向上。
- 販売支援。営業体制の構築。
- 金融機関及びファンドと対象企業役職員の積極的なコミュニケーションによる各種経営改善施策の円滑な実施。